



よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和6年10月7日

第14号

ほごしや みなさま
保護者の皆様へ



なぜ、対話を大切にしているのか

四つ葉点描やHPを通じて、「自律」の重要性について何度もお伝えしてきました。今回は、改めて保護者のみなさんに向けた、「自律」ができる子に育てるには何に気を付けるのか...についての話です。

どんなにかわいい我が子でも、いつまでも親の手元で守り続けることはできません。無事に巣立つための力(=自律)を身に付けさせるに、学校も家庭も一緒になって取り組みたいことについて書きますね。

「対話による合意形成」ができる子に

行事の取り組みが始まると、必ずといっていいほど学級の中ではもめごとが発生しました。意見が食い違って対立したり、それがもとでケンカになったり。行事前の「中学校あるある」です。中学生はまだまだ純粹、直球、そして元気。だからぶつかることが多かった(ぶつかって当たり前なのです)。そのような日々の繰り返しの中で、私たちは社会性や問題解決能力を身につけてきました。



与えられる
やってもらおう



自分で考える
自分で決める

ところが、最近その様子が変化しています。

* 面倒なもめごとを避け、人と深く関わることに控えめ・臆病な生徒。

* もめごとやトラブルが起きると、すぐに介入し解決しなければと焦る大人(先生・保護者)。

大人が事情を聞き取り、整理し、これで間違いないかと確認し、謝罪を促す。子どもは「はい、そうです」と「ごめんなさい」を繰り返せば、解決してもらえる。予測不能で不安定な世の中では、大人も子どもも「できれば面倒に巻き込まれたくない」と、見えない不安に翻弄されているようです。

しかし、子どもたちが、相手の思いや行動の要因を想像することなく、問題解決を人任せにしてしまうことには危機感を抱きます。もめごとが起きたら、本来は、当事者同士で解決するもの。そのためには、しっかり

と対話して着地点を見つけ出し、合意形成をする力が必要です。本校の先生たちにも「子どもの言葉を代弁しすぎないで」とお願いしています。もちろん、解決へと導くための手助けは欠かせませんが、あくまでも子どもが当事者として問題に向き合うことが大切です。

ご家庭でも、セツキョーではなく「対話」を

対立・トラブルを「思いやりの心」で解決するのは乱暴すぎる……。問題解決にはスキルが必要です。また、手をかければかけるほど子どもは当事者でなくなり、上手いかないことを誰かのせいにするようになります。

「〇〇しなさい！」と答えを教える前に、「どうしたら、解決できる？」と、一緒に考えられるように仕向ける。私たち大人がちょっと意識を変えることで、子どもは、自分で考えられるようになります。「対話による合意形成」ができる、自律した子どもを共に育てていきたいですね。

※中体連三四地区大会の組み合わせ決まる！！※

新チームとなって、最初の大会となる中体連新人戦。

その三四地区予選の日程と組み合わせが決まりましたのでお知らせします。

詳しくは、顧問から知らされる連絡をご覧ください。



クラブ名		日	曜日	時刻	対戦相手	会場
バレーボール		18	金	9:50	常磐	港中学校
ソフトテニス男	団体戦	18	金	9:00	楠	三滝テニスコート
	個人戦	19	土	9:00	—	四日市ドーム
ソフトテニス女	団体戦	18	金	9:30	菰野	三滝テニスコート
	個人戦	19	土	9:00	—	四日市ドーム
バスケット男		18	金	10:40	朝明	中部中
バスケット女		18	金	11:30	常磐	笹川中
野球		18	金	8:45	富洲原・羽津	松原球場
ソフトボール		18	金	9:00	羽津・菰野	大羽根運動公園
卓球	団体戦	18	金	8:45	南	霞ヶ浦体育館
	個人戦	18	金	10:40頃	—	霞ヶ浦体育館
柔道男	個人戦	19	土	午後	—	三滝中武道場
柔道女	個人戦	19	土	午後	—	三滝中武道場

剣道・硬式テニスの大会に参加する人もいます。全員、精いっぱい力を発揮してください。